

平成 30 年度 第 3 学期始業式校長講話

新しい年を皆さんで迎えることができました。今年は「平成」から新しい時代へ変わる年です。4 月 30 日に天皇が生前退位され、平成が終わります。5 月 1 日には新しい天皇が即位され新元号のもと、新たな時代が始まります。新元号は 4 月 1 日に公表されるようです。

そして、島根県も新しい体制が決まります、統一地方選挙です。平成 31 年 4 月 7 日(日)には知事・県議会議員選挙が行われ、本県の舵取りを託す新しい知事と県議員が決まるということです。3 年生は私と同じ一票を持って新知事を選ぶことになります。選挙公約等をよく吟味し、島根県の将来を託す人を自らが決める。その権利が 3 年生にはあります。そして、7 月には参議院選挙があります。2 年生で 18 歳を迎えた人は国政にも関与することになります。

4 月 30 日までの平成 31 年、5 月 1 日からの新元号元年、新知事選挙と新しいことがキーワードになりそうな年のような気がしますし、変化の著しい時代をこれから迎えることになるのだろうと感じています。外国人の受け入れを積極的に進めようとしている国、事実島根県でも多くの外国人の方が働くような環境になりつつあります。人材不足が叫ばれる農業、運輸、福祉、サービス業などでは外国人労働者の受け入れが推進され、AI を活用した自動運転技術の開発にも力が注がれつつあります。これまでの経験をもとにしながらも新しい発想で様々な仕事が展開されていくような時代になってきています。2020 年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、2025 年には大阪万博も決まっています。これらの国際的な大会が、日本社会に与える影響は計り知れないものがあり、今後ますますグローバル化が進んでいきます。

日本の人口は約 1 億 2 千万人。この 5 年間でほぼ変わっていないということです。日本と同じ成熟した国といわれているアメリカやドイツなど欧米諸国の人口は 2~3 割増えているそうです。ここが違うところで、今後の予想では 2050 年には日本の人口は 9,700 万人、24%減少すると見込まれています。その一方で世界の人口は現在の 76 億人から 2050 年には 100 億人に増加するとの予想です。日本の人口は減少するのに世界人口は増加するということです。日本はこれまで人口減少という経験がありませんでしたが、これからは人口が減少するという国、その社会をどう作っていくかを考えなければなりません。この人口減少にどう対応するかというモデルが地方にあります。島根県もその一つです。皆さんがこれからのしまねをどう支えて国際社会とどうつきあっていくかが重要となってきます。皆さんの新しい時代です。

変化の激しい時代で、知識をもとに知恵を出し合いチームで難関を乗り越えていく時代です。学校や社会での様々な学習や活動を大切にして、新しい時代で活躍できる力をつけてください。これからのしまねを創成することが、この国の将来を支えることにつながっていきます。

皆さんの活躍を祈ります。